

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：都市計画課

施策名	公共交通
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・公共交通機関を利用することで、だれもが快適に市内外の移動ができています。

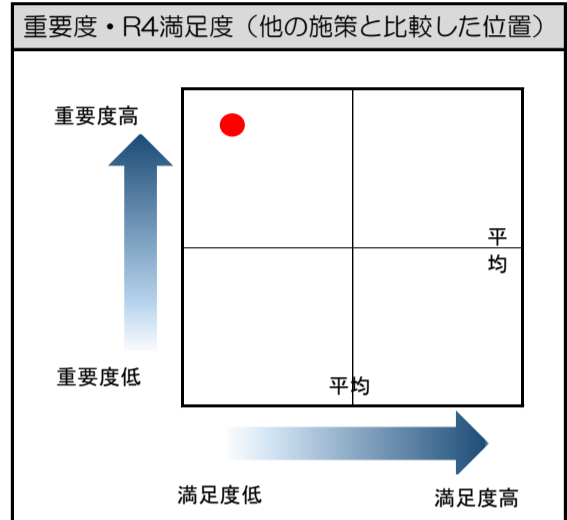
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
市街地におけるバス乗降人数	人/日	1,300	1,300		1,300
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,331	1,367	449	685	1,141

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
99.0

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度	↓ DOWN	令和4年度
69.2		61.2



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

公共交通に対する住民満足度は低く、移動手段に不安を感じている市民が多いと言えますが、バス・鉄道交通の維持に4億7千万もの事業費を計上しており、これ以上の運行経費の増額は厳しい状況であると考えています。適材適所な路線網の構築・維持に努めるとともに、利用者が少ない路線は廃止するなど新たな移動手段を研究していきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：デマンドバス運行事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
30,943				利用者・地域特性を分析し、費用対効果を含めた運行の最適化を継続していきます。	

事務事業名②：自主運行バス運行事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
191,555				高齢者の方や学生の生活交通手段として、利便性の高いバス交通を運行していきます。	

事務事業名③：地域内バス運行事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
93,638				高齢化と過疎化により地域内バス運行の役割は益々重要となっています。一方で地元運営によるバス運行も高齢化により人材の確保が難しくなっています。地域内バス運行組織の機能強化を図っていきます。	

事務事業名④：公共交通利用促進事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,264				市民の通勤・通学動態の把握、高齢者の免許返納等の社会的な背景を考慮し、補助制度の設計を常に見直しつつ運用していきます。	

事務事業名⑤：鉄道交通事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
76,795				安全安心な運行、老朽化対策など多額の経費を負担し運行を継続しています。今後の運営の在り方を沿線市町で早急にまとめる必要があります。鉄道存続の将来計画として、上下分離、修繕費の平準化を要求していきます。	